

平成30年6月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

平成30年6月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時、会場
平成30年6月26日（火） 15時00分～16時10分
市役所東棟 2階 大会議室
- 2 出席
蔵品泰治教育長、吉楽隆一委員、庭野三省委員、佐藤美佐子委員、浅田公子委員
- 3 説明のため出席した者
子育て教育部長（樋口幸宏）、文化スポーツ部長（富井敏）、学校教育課長（山岸一朗）、生涯学習課長補佐（須藤剛浩）、文化財課長（佐野誠市）、スポーツ振興課長（井川純宏）
- 4 報告事項
 - ・共催・後援等報告
 - ・報告第1号 十日町市学区適正化検討委員の委嘱について
 - ・報告第2号 十日町市小中一貫教育連絡協議会補欠委員の委嘱について
 - ・報告第3号 十日町市の学校給食（H30年度）について
 - ・報告第4号 平成29年度十日町市立学校不登校の状況について
- 5 議決事項
 - ・議案第1号 十日町市学校給食地産地消推進事業補助金交付要綱の制定について
- 6 その他
 - (1) 最近の動きについて
 - ・教育長、各部長、各課長
 - (2) 7月の主な行事予定について
 - (3) 次回の教育委員会の開催日時
- 7 会議の内容
 - (1) 5月臨時会・定例会会議録の承認
署名委員：（臨時会）佐藤委員、吉楽委員、（定例会）庭野委員、佐藤委員
 - (2) 会議録署名委員の指名
署名委員：浅田委員、庭野委員
- 8
 - (1) 報告事項
 - ① 共催・後援等報告
 - ・別紙のとおり
 - （特に質疑等なく了承された）
 - ② 報告第1号 十日町市学区適正化検討委員の委嘱について
蔵品教育長
 - ・事務局の説明を求めた。

樋口子育て教育部長

- ・資料に基づき説明

庭野委員

- ・対象は小学校でしょうか。中学校も入りますか。

樋口子育て教育部長

- ・対象は、小学校と中学校両方となっている。第1次計画の中でも同様です。

庭野委員

- ・具体的には、飛渡第一小学校か。

蔵品教育長

- ・複式学級のある小学校は他にもある。貝野小、鑑島小、馬場小など。

庭野委員

- ・吉田と鑑島は、地域協議会で合併の話があると聞いている。そういったところも含めているのか。

樋口子育て教育部長

- ・そういうことである。中学校ではまだ複式学級になるところはない。

庭野委員

- ・小学校では部活動はないが、中学校では少子化により部活動が大変だと思う。

樋口子育て教育部長

- ・10月頃には教育委員の皆様と意見交換する計画である。

蔵品教育長

- ・議会にも何回か報告する。7月5日に常任委員会へ報告し、11月にも中間の報告をする。

(以上の質疑のあと了承された)

③ 報告第2号 十日町市小中一貫教育連絡協議会補欠委員の委嘱について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

山岸学校教育課長

- ・資料に基づき説明

蔵品教育長

- ・ほぼ半数が変わることになる。

(特に質疑等なく了承された)

④ 報告第3号 十日町市の学校給食（H30年度）について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

山岸学校教育課長

- ・資料に基づき説明

吉楽委員

- ・アレルギーで給食メニューが変わることはあるか。

山岸学校教育課長

- ・それは命に関わることなので、変えることはある。

（以上の質疑のあと了承された）

⑤ 報告第4号 平成29年度十日町市立学校不登校の状況について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

山岸学校教育課長

- ・資料に基づき説明

庭野委員

- ・中学校では、特別支援学級が16学級あるということだが、保健室や相談室に登校するという中学生が多くなっている状況を見ると、個別支援を受けないと学業がついていけないことと、不登校が繋がっているように見えるが、どのように分析しているか。

山岸学校教育課長

- ・中学校では学力差も出てくる。また、子どもたちの学校での満足度について、小学校の通常学級の子どもたちより特別支援学級の子どもたちの満足度が高い。中学へ行くと逆転して通常学級の子どもたちより特別支援学級の子どもたちの満足度が低い。ということかということ、勉強についていけないこともあると思うし、小学校ではきめ細かく支援をするが、中学校では発達段階に応じて自立をさせように対応するので、自分で考えさせるなど小学校より対応がきめ細かではなく、特別支援学級の子どもたちにはなかなか難しいのではないか。それも大きく影響していると思われる。中学校の教員には、学校を卒業してからも自立してがんばって欲しいという思いがある。

吉楽委員

- ・小学校では学校が楽しいが、中学校では逆転する。それが進行すると学校へ来ない。不登校の子どもも卒業式には来て、中学校には行けなかったが高校には行きたいという話しを聞いた。高校進学目標はあるが、受験で必要な学力とか基礎的なものには熱意がないように見える。いじめや人間関係とは違う感じを受けるので、常態的に固定数値が一定に続くのではないかと数値をみていた。

山岸学校教育課長

- きっかけとしては、友達とけんかなどがあって、その子が乗り越える力を持っているかどうか、要因のひとつがわかったとしてもそれが全てかどうか。2年前に細かく調査してクロス集計をしたが、これが原因で多いというものははっきりしなかった。また、原因を見つけてそれを叩けばいいかということそうでもない。子どもに自己有用感をつけていって漢方薬のような対応の方がいいと考え、自己有用感を大事にした教育に今年から方向を変えている。

庭野委員

- 小学校と中学校で変わるというが、生徒が満たされないのであれば中学校の特別支援教育の在り方が問われているのではないかと。大変な子どもだから特別支援学級へ入れるという発想もあるようなので、学校の特別支援学級の在り方も問われてくる。欠席が多ければ留年することも戦前はあった。学校へ行かなくても卒業できるのだから、こういったことも国で考えなければいけないのかも知れない。

吉楽委員

- 最低でも出席ができるように中学校が小学校の配慮を少し取り入れると不登校の子どもは半分くらいは登校するようになるのではないかと。中学2年生が重要で、そこで躓くと中学3年でドロップアウトして学校へ行かなくなるようだ。

庭野委員

- 将来的には、不登校の子どもを集めて対応することも考えないと、中学校も小規模化してくると対応が難しいことになる。全欠がどのくらいいるのか。

山岸学校教育課長

- 全欠は中学校で9人である。

庭野委員

- 全欠ということは、ほとんど人と接していないということではないか。

佐藤委員

- そういう子どもの学力は調べていないのか。

山岸学校教育課長

- 学校へ来ないため、会うことができてもそこまではできない。教員が指導するというよりも、その子が興味のあるものを読んだりしながら理解する力が付く程度ではないか。

庭野委員

- 中学校の規模が小さくなり、部活の指導者の確保が大変な時代である。中学校に任せても限界があると思う。どこかひとつの施設に集めて指導するなど考えたほうがいいのかと思う。

蔵品教育長

- そのひとつに丸山町の教育会館に適応指導教室を設置した。現状はどうか。

山岸学校教育課長

- ・4月には3～4人だったが8人に増えて、勉強を教えて欲しいということで、指導主事の予定をやり繰りして教えに行っている。

蔵品教育長

- ・適応指導教室に来れば出席となる。

(以上の質疑のあと了承された)

9 議決事項

(1) 議案第1号 十日町市学校給食地産地消推進事業補助金交付要綱の制定について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

山岸学校教育課長

- ・資料に基づき説明

庭野委員

- ・震災復興基金の事業ということだが、大変な事務作業で書類作成の事務は慣れた人ならいいが一般の人は難しい。市職員や県職員のOBは是非事務局になって欲しいと思う。地元負担は5分の1で、補助金が5分の4だが、計算なども大変である。

吉楽委員

- ・和光市の学校給食に十日町市のコシヒカリが使われていると思うが、この補助金と関係があるのか。

蔵品教育長

- ・全く関係ない。和光市にクロステンの物産販売所ができたことから学校給食に使うようになった。新座市でも学校給食に新潟産コシヒカリを使っている。

庭野委員

- ・この様な書類の作成が難しいから申請するところが少ないと思う。

蔵品教育長

- ・公のお金を目的と違うことに使われないようにするにはこうなるのではないか。

(以上の質疑のあと了承された)

10 その他

(1) 最近の動きについて

- ・教育長、部長、各課長等が資料に基づき説明

(2) 7月の主な行事予定について

- ・資料に基づき説明

(3) 次回の教育委員会の開催日時

7月定例教育委員会 7月24日（火）13時30分から開催することに
決定した。

以上で、16時10分に蔵品教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記